

第 20 回議会報告会 報告書

地 域 名	八鹿地域		
年 月 日	平成元年 10 月 24 日 (木)	会 場 名	八鹿ふれあい倶楽部
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 15 分
参 加 数	男性 14 人	女性 0 人	合計 14 人
班 長	勝地 貞一	司 会 者	勝地 貞一
報 告 者	全員	書 記	瀬原 達夫
班 員 名	勝地 貞一、谷垣 満、藤原 芳巳、瀬原 達夫		
	市 民	対 応	
報告に対する主な質疑	<p>① フルーツの里やぶは経営の黒字化は難しい。補助金を出してでもこのまま営業を続けるべきではないか。</p> <p>② 職員の健康管理面で、喫煙が気になる。市役所はどのような対策を取っているのか。</p> <p>③ 自伐林家の意味は。</p> <p>④ 荒廃農地を開墾し、農地に復元すると補助金が出る制度がある。知られていないため情報を出すべきだ。</p> <p>⑤ 広報紙等で、一般の人には分かりにくい専門用語が多いが、脚注をつけるべきだ。</p> <p>⑥ 副市長は同意を得て選任され、一身上の都合により退任されたが、過去のこともあり無責任で問題はないのか。</p> <p>⑦ 八鹿病院の累積赤字はいくらか。この赤字はどうするのか。</p>	<p>① 行革の提言に従い赤字の続く市の直営は止めて、民間の経営主体に指定管理ができるようにするもので、現在は生産者の組合との協議を行っている。</p> <p>② 公共施設内での喫煙は禁止である。</p> <p>③ 所有者が個人で林業を行っていく取組手法である。伐採から搬出・出荷まで自力で行う林家のことである。</p> <p>④ 高齢化の中で山になっていく農地を復元する取組に助成している。</p> <p>⑤ 紙面の都合上すべてに脚注を付けていないのが現状であるが、できるだけ付けることに心がける。</p> <p>⑥ 副市長の選任同意は必要だが、退任同意は必要ない。ただ、市長には任命責任があり説明責任はある。</p> <p>⑦ 累積赤字は昨年 7 億、一昨年 5 億で合わせて約 12 億となる。将来、運営資金が無くなると、赤字分は養父市と香美町の負担となる。</p>	

	<p>⑧ 新文化会館が建設されると、今ある会議室はなくなる。会議室は必要と思う。</p>	<p>⑧ 新文化会館に会議室は確保されている。現在の会館の会議室はなくなるが、機能は移行することになる。</p>
<p>意見交換会 での 主な 質疑</p>	<p>① 先般全国 1,788 の議会を対象に調査した議会改革度調査において、養父市は全国で130位、兵庫県では9位、但馬では1位と頑張っている。又住民参加の項目で49位と聞いている。 議会として改善されたという方向性として、マニフェスト大賞の議会部門にエントリーされることも一つの方法と思うが。</p> <p>② 平成21年11月の行革報告書は、フルーツの里やぶの経営について、市が行う事業を廃止ということでフルーツの里やぶを無くすことではない。</p> <p>③ 図書館が新たに設置されると司書が配置される。議会の仕事のサポートとしても一役担ってもらうことはできないか。また、図書館の相互利用を図る「ネットワーク化」、施策や図書購入などを協議する「図書館協議会」などの設置が必要である。</p>	<p>① 平成22年議会基本条例制定からスタートで議会改革は進んできた。また議会報告会も早くから始めており評価されている。 この度も議員報酬の特例に関する条例（長期欠席議員の特例）の制定の件で、マニフェスト大賞に応募した。</p> <p>② その通りである。</p> <p>③ 図書館の相互利用を図るネットワーク化、施策や図書購入などを協議する図書館協議会などの設置について、条例・規則の制定にあたり検討課題だと思う。</p>
<p>その他 (提言など)</p>	<p>① 議員定数と報酬についての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定数は委員会に必要な人数が何人かで決まる。現行の報酬で高くないと思う。 ・議員の仕事はいくらでもある。広報は他市に比べ充実している。 ・マニフェスト研究所では、定数・報酬の削減はしないという流れになってきている。しっかり仕事をする事、それに尽きる。報酬を上げる、あるいは定数を増やせばいい人が来るか、若い人が来るか、その結果は必ずしもそうではない。 	
<p>備考 なし</p>		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成元年 11月 15日

報告者 1班 班長 勝地 貞治 